

血まみれの決闘（1957）

メディア 映画

ジャンル ドラマ 青春 スポーツ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 89分

初公開日 1957/08/28

【解説】

熊生三郎の原案をもとに「三十六人の乗客」の瀬川昌治がシナリオを執筆し「大学の石松 女群突破」の小石栄一がメガホンをとったボクシング映画。撮影の佐藤三郎と音楽の飯田三郎も同じく「大学の石松 女群突破」に引き続き参加している。高倉健が初めてボクサー役を演じた。

ボクシングのチャンピオンになるべく上京した早田と牛島は、もぐりのダフ屋などで生計を立てながら、田村拳闘クラブに入会しようと何度も足を運んでいた。今日もクラブを訪れていた二人の前に、倶楽部所属の森山選手が酔っぱらって現れ牛島にからみ始めた。牛島は見事なアッパーで森山をノックアウト、田村は牛島をその夜の試合に出場させ、対戦相手から勝利を得てしまう。早田は選手をあきらめマネージャーに転身すると、いやがる牛島を説き伏せ田村拳闘クラブと契約させるのだった。順調に勝ち進む牛島だったが、飲み屋で働くみち子との結婚生活を願い、契約終了と同時に引退しようとする。そのことを知った早田は強引に再契約を結び、さらにみち子を田舎に返してしまった。

【クレジット】

監督 小石栄一

企画 根津昇

本田延三郎

原案 熊生三郎

脚本 瀬川昌治

撮影 佐藤三郎

美術 中村修一郎

音楽 飯田三郎

出演 高倉健

中村雅子

岡田英次 Eiji Okada

加藤嘉

花沢徳衛

浦里はるみ

須藤健

木村功